

## 火災を防ぐ①

# ガスコンロからの出火



### 【概要】

赤磐市内の一般住宅において、ガスコンロの魚焼きグリルで魚を焼いていたところ火を消し忘れて外出してしまった為、グリルが過熱され約1時間後にはグリル内の油かすに着火、延焼拡大し火災となる事例が過去にありました。



(イメージ)

### 【原因】

今回の火災で一番の原因は、ガスコンロの火を消し忘れてしまい、その場を離れてしまったことにあります。

また、近頃のガスコンロは、立消えや加熱防止装置等の安全装置が充実していて火災になりにくいと言われていますが、コンロの清掃を行わずに油などで汚れた状態のまま使い続けると、これらの機能が作動する前に火災になる場合があります。さらに、汚れによりセンサーがうまく反応せず、高温となり発火する場合も考えられます。

ガスコンロは定期的に清掃し

使用する際はその場を離れないでください！



慌てて開けると炎が拡大してしまうので注意！

※コンロの過熱防止装置は、国の安全基準で2008年から全口に設置されています。

平成30年中に全国で発生した火災(37,900件)のうち、コンロが原因となった火災は2,838件で全体の7.5%で、火災原因の第3位となっています。また、建物火災での火災原因では第1位(13.4%)となっています。

お問い合わせ : 赤磐市消防署 予防係 Tel: 086-955-2287